

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ベビーシッター派遣事業		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	保育課		橋本 泰宏	
会計区分	年金特別会計 (子どものための金銭の給付勘定)		施策名	Ⅲ-1-3 「就学前児童の保育ニーズに対応した保育サービスを確保する」			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	子育て支援事業等助成費の国庫補助について (厚生事務次官通知 平成6.8.22厚生省発児第137号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	深夜や休日といった通常行われている保育では対応しきれない保育需要に対し、ベビーシッター派遣サービスの利用等への支援を行い、また、双生児を養育する保護者の育児疲れ解消や産前産後期の体調不良等を支援することで、児童の健全育成を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の従業員が就労のためベビーシッター派遣サービスを利用した場合、双生児を養育する家庭の保護者の育児疲れの解消や他に就学前児童のいる家庭の産前産後期にある母親の育児支援を目的としてベビーシッター派遣サービスを利用した場合に、その利用料の一部を助成。 ・補助率: 定額(10/10相当) ・補助先: 財団法人こども未来財団 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	254	253	255	229	229
		補正予算					
		繰越し等					
		計	254	253	255	229	229
		執行額	208	198	201		
	執行率(%)	81.9%	78.3%	78.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、児童の健全育成を図るものであるため、成果指標を設定することが困難である。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ベビーシッター派遣事業割引券精算枚数	活動実績 (当初見込み)	枚	95,428	97,587 (126,555)	100,087 (127,613)	- (113,898)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	双生児家庭育児支援事業割引券精算枚数	活動実績 (当初見込み)	枚	1,603	1,538 (2,201)	1,371 (2,351)	- (1,988)
単位当たりコスト	①ベビーシッター派遣事業: 1,700円(割引券1枚あたり) ②双生児家庭育児支援事業 双生児家庭育児支援: 9,000円(割引券1枚あたり) 産前産後育児支援: 1,700円(割引券1枚あたり)		算出根拠	①ベビーシッター派遣事業割引券単価 ②双生児家庭支援事業割引券助成額割引券単価			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	ベビーシッター派遣事業費	194	194	-			
	双生児家庭等育児支援事業費	20	20	-			
	事務諸費	15	15	-			
	計	229	229	-			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、深夜、休日の保育ニーズや育児疲れの解消といった子育て支援に対応する事業であり、もって児童の健全育成を図る事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ベビーシッターの利用や子育て支援に地域差が生じないようにするため、国の補助事業としている。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	見込みより実績が小さくなり不用が生じたため、平成24年度は活動実績を踏まえ、事業規模を見直した。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業を実施する子ども未来財団は、育児及び児童の健全育成に寄与することを法人目的としており、事業主団体や民間企業などと連携しつつ、拠出者へ還元的意義を有する児童育成事業を行ってきた実績を有しており、児童の育成に幅広い知識と経験を有する唯一の法人であることから、子ども未来財団を選定している。 子ども未来財団は、事業の実施に関してHP等を通じて広く募集し、当該事業の基準に該当しているか審査した上で事業を実施しており、事業実施先の選定は適切に行われている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	補助対象は、事業に必要な経費である人件費、割引料等といった経費のみであり、その水準は妥当である。 平成24年度は事業規模を見直し、コストの削減を図った。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	ベビーシッター利用料の一部を補助しており、それ以外は実費負担である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	補助対象は、事業に必要な経費である人件費、割引料等といった経費のみである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業は、ベビーシッターの利用や子育て支援に地域差が生じないように全国規模で実施している。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みより実績が小さくなり不用が生じたため、平成24年度は活動実績を踏まえ、事業規模を見直した。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当該事業について、各点検項目による評価も概ね妥当と考えられる。今後も、児童の健全育成を図るために、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、執行率を上げる工夫・改善を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0862	平成23年行政事業レビュー	0768

A.(財)こども未来財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	割引券の発行に係る経費	201			
計		201	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.(財)こども未来財団

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)こども未来財団	ベビーシッター派遣サービスの利用割引券の発行及び精算	201		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					